プレキャスト

ブレーキをゆるめて車両を運転する間つけて使用する位置で、ブレーキシリンダを排気し、自動ブレーキの場合はまた込めをつけブレーキ管の空気漏れに対し給気弁管の空気通路をつなぎ、ブレーキ管を定圧に保つ位置である。

3 保ち位置

自動ブレーキだけに必要とする位置で、たとえば長い下りこう配線区において繰返しブレーキを使用する場合、装置にブレーキ力の回復時間を与えるため、列車のブレーキをゆるめ機関車のブレーキだけをきかせたままとし、列車全体のまた込めが完了するまで機関車で列車の加速を抑制するときに使用する。

4 重なり位置

ブレーキ弁からの空気の給排をすべて絶ち、ブレーキ状態を一時そのままに保持する場合に使用する。

5 緩ブレーキおよび急ブレーキ位置

直通、自動を問わずブレーキの作用を取扱上加減しやすくする目的で、作用時間を調節するため、大小2通りの通路をハンドル位置にしたがって使いわけできるようにしたものである。また直通ブレーキで第1ブレーキ、第2ブレーキを有するものは、弁の機構はこれと同じであるが、第1ブレーキは単車の場合、第2ブレーキは2両連結のときに使うよう考慮されている。

6 ハンドル取はずし位置

両運転台付の車両のように運転台を乗捨てたまま列車として運転する車両の場合は、ブレーキ扱いの過誤を防ぐため、ブレーキ弁ハンドルを抜取っておく方がよいので、このために設けた位置で、普通ハンドルもりを使用し、他のハンドル位置では抜けないように工夫されている。またこの位置では自車に空気源がなく、他車からブレーキ管を経由して給気されたときでも支障ないように考慮されてある。

7 非常ブレーキ位置

火急の場合車両をすみやかに停車させるための位置で、取扱いをもっとも簡単にするためいちばん端の位置としてある。(高桑五六)

プレキャスト・コンクリート (英) precast concrete 工場であらかじめ製作されたコンクリート部材。JIS (日本工業規格) の規格には、遠心力鉄筋コンクリート管 (JIS A5303)、鉄筋コンクリート管 (JIS A5302)、歩道用コンクリート平板 (JIS A5304)、鉄筋コンクリートU形 (JIS A5305)、コンクリートおよび鉄筋コンクリートL形 (JIS A5306)、コンクリート境界ブロック (JIS A5307)、遠心力鉄筋コンクリートポール (JIS A5309)、遠心力鉄筋コンクリート基礎杭 (JIS A5310)、セメント瓦 (JIS A5401)、厚型スレート (JIS A5402)、空洞コンクリートブロック (JIS A5406) 等がある。

また現場付近でつくって工事に用いるものに、トンネルのライニングのブロック、乗降場の笠石、橋げた高上用コンクリートブロック等がある。またけたの架替えのために、現場付近であらかじめつくられるコンクリートげたや、スラブも一種のプレキャストコンクリートである。建築用としては、ブロック建築のブロック、組立て家屋用の壁材等がある。(川口輝夫)

プレステンパ (英) press-temper テンパ (焼もどし) するときプレスして行う方法であって、曲り直しや整形に非常に有効な方法である。プレステンパの原理は焼もどしの際、組織変化や析出変化を伴う場合に塑性変化がいちじるしく促進されるということにもとづくもので、したがってちんちんに焼きの入ったものを焼もどす場合、または焼もどしによっていちじるしく軟化する場合に有効である。このため焼入部品を曲り直しや整形する場合にプレステンパが有効になるのであって、組織的にはマルテンサイトがトルースタイトまたはソルバイトに変化するときにプレステンパがよくきき、パーライト組織のものはよくきかない。国鉄で初めて提唱した名前であり、車両用重ね板ばねの製修作業に取入れた新しい技術である。(昭和27年)。米国などではヒート・セッチング (heat-setting) といって、薄板製の複形ワッシャなどの成形に応用している。(大和久重雄)

プレストーク (英) press-talk 無線機とかインターコムとかでリレーにより送受信を切換える方法をいう。たとえば1周波

ブレーキ弁のハンドル位置

分類 ブレーキ弁の例	自動ブレーキ用			直通付自動ブレーキ用			直通ブレーキ用			
	K14およびB自動部	K14C自動部およびH6	M23,ME23およびA	M24 M24C	G2A	A D9	K14AおよびB単独部	K14C単独部およびS6	P V 3	M18A
ハンドル位置										
ゆるめ	急	1	1	1	1	—	1	1	1	1
	緩								2	
運転		2	—		1	—	2	2		—
保ち		3	2		—	2				—
重なり	直通		—		2		3	3	3	2
	自動	4	4	4	4	3				—
直通ブレーキ	緩					4'		4	4	4
	急				3	5'	3	5	5	5
	第1		—							3
	第2					—				4
ハンドル取はずし	4'	—	3	6	2	4'	2'		3'	2'
常用自動ブレーキ	緩					4				
	急	5	5	5	5	5				
非常ブレーキ	6	6	6	7	—	6				5

1 各ブレーキ弁のハンドル位置はブレーキ弁に向かって左からこの表に示す数字の順となっている。
2 ハンドル位置の順を表わす数字のうち同じ数字に「'」を付けたものは、1箇所て2つのハンドル位置を兼ねているものを示す。